

☆「協賛店舗」



草加市高砂 2-11-11 TEL 048(928)8586



埼玉県草加市花栗 4-14-26 第一銀マンション 103

草加市住吉 1-7-3



草加市松原 4-1-8 TEL 048(941)4232

草加市住吉 1-6-1 TEL 048(929)4129

- 三州総本店 草加市松原 1-1-9 B111 TEL 048(943)5667
- クリーニング タートル 草加市松原 1-1-9 B104
TEL 048(942)0309
- 花ゆらい 草加市松原 1-1-9 B114 TEL 048(960)0001
- ひまわり 草加市松原 5-7-2 TEL 048(943)8565
- 居酒屋 きちんと 草加市栄町 3-5-18 TEL 048(954)7706
- ティールーム JUNE TEL 048(936)4211

協賛のご協力ありがとうございました！

付録6. プロジェクトメンバー感想

企業渉外 相田剛志

私はこのプロジェクトに関わることが出来て心からよかったと思います。イベントを開催するにあたって本当にたくさんの方にお世話になりました。地域の店舗には協賛として飲み物やお花、協賛金を頂きつながりの力を感じました。ご協力いただいたお店を初めとする地域の方々、本当にありがとうございました。

そして、わざわざイベントに足を運んでいただきました参加者の皆様に感謝を申し上げます。イベント当日は司会として参加者の方々と一緒に楽しませていただきました。初めてあんなにたくさんの人たちの前で話させていただいたのでとても緊張していたのを今でも鮮明に覚えています。つたない司会でしたが皆さん楽しんで参加していただけたでしょうか。

最後に、企画の段階から人生初めてのリーダーとしての仕事を与えてくれ、最後まで一緒に頑張ってくれたプロジェクトメンバーやプロジェクト発足当初から暖かく見守り、指導してくださった工藤先生、アドバイスをくださった先輩方に感謝の言葉を伝えさせてください。

私はワールドカフェ～対話+創造=ちょっといい未来～の企画・運営に参加することで、チームで企画・行動する事の難しさを学びました。これは私にとって人生での貴重な経験となり、これからも大きな影響をもたらしてくれる物であると思っています。

他者との対話は自身や他者の可能性を広げてくれます。近所の喫茶店や学校、会社などで繰り広げられる小さな対話が大きな声となり、ちょっと良い未来が訪れる事を強く望みます。

運営 新井可奈

ワールドカフェに集まって下さった参加者の皆さんは、明確に目標を持っていたり、ミッションを掲げて NPO で活動しているような方たちでした。そんな人たちが、私達大学生の掲げたトピックについて真剣に話し合っている、という状況を作れた事がとても嬉しかった。運営者として、一人の平凡な大学生として、今回のワールドカフェを終えて単純にそう思いました。私のようなごくごく普通の大学生でも、周りの友達と協力しながら少し頭を働かせて世の中を想えば、目に見えるような大きな事はできなくても、人々の考えに影響を与える事は確かにできるのだなと感じています。世界を変えられなくても、考え方は変える事ができる。考え方が変われば世界は変わる。これは、アートの力で世界を変えたいと活動している、あるアーティストの方の言葉です。(英語でみたのであんまり自信がないです) 理想論的になってしまうかもしれませんが、まさにこれだと思います。おかげさ言えば、しがない大学生にも世界を変える力があるということです。とはいうものの、理想の社会実現のため

に私達が必死になって考えた工夫や仕掛けが、実際に上手くいったかどうかというと、そうでもないと思います。しかし、普段関わり合う事がないような人々と対話するきっかけを与えることができましたし、その経験は参加者のみなさんの心に残る物になったという手応えはあります。自分の頭で考えること、それぞれの意見をたくさんの人とシェアすること。そこで得たヒントが将来なにかしらの役に立つかもしれない、そのようなレベルでも、なにもしないひとより、一歩を踏み出していると思いますし、そういう感覚を大切にしていくことは必要不可欠だと思います。

私達のワールドカフェは、みんなが暮らしやすい社会を実現したいと思うゼミ生と、社会を良くするべく活動している参加者のみなさん、そしてそういった事に関心のあるみなさんや私達の活動に共感して協賛してくださったみなさんの温かい気持ちで出来上がった、とてもすてきなイベントだったと思います。

NPO 渉外 伊藤優美

今回のワールドカフェでNPOの渉外として参加することで、普段関わることのないような多くの方との出会いがありました。参加者集めの段階でのメールでのやり取りや、ワールドカフェ当日、また事後インタビューなどを通して参加者の方とお話をしていく中で、参加者の方よりもむしろ私たちが学んだことの方が多かったのではないかと思います。年代の異なる方と話すことによって、新しい考え方や人生観を知ったり、その方たちが行っている活動からヒントをもらえることはとても面白く感じました。また、ワールドカフェの準備をするにあたって、チームで動くことの大切さも学びました。参加者集めを始めたばかりの頃は、集め方も分からず、今思うととても効率の悪いやり方をしていたと思います。しかし、時間はかかったとしてもみんなで話し合いをして、情報をシェアすることによってよりいいアイデアがうまれて、結果的にたくさんの方に参加してもらうことができました。今回このイベントを開催することは私にとってとてもいい経験になり、多くのことを学びました。最後に、ワールドカフェに参加してくださった皆様、そして途中から参加した私を仲間に入れてくれた9期生のみなさんにとっても感謝しています。ありがとうございました。

広報 岩垂絢子

ワールドカフェを通して学んだことや感じたことは数多くあります。このイベントを開催することが決まった当初、私はワールドカフェの目的を十分に理解出来ていませんでした。もちろん対話イベントなので、話し合いの中で気づきや変化が生まれ、人々のつながりを作

ることが目的であることは分かっていました。しかし、イベント自体に参加できない私たち学生には何が残るのか、私たちがイベントを催す意味はいったい何なのか。イベントに対して曖昧なイメージを持っていました。自分自身が納得できていない部分があったため、このイベントに参加してほしいと、他人を説得する自信もありませんでした。私はワールドカフェ開催に直接結びつくような仕事ができていなかったと、反省すべき部分が多く本当に皆に申し訳ないです。結局、私はこのイベントにおいてもっとも重要な交渉活動をしていませんが、振り返って考えると、交渉の際にできたつながりをイベント終了後も続けていくことが私たちにとって、このワールドカフェを通して得るものの1つだったのだと感じます。また、私個人もメンバーと共に活動することを通じて、自分に出来ることや苦手なこと、足りない部分がよく分かりました。ワールドカフェメンバーの一員としてこのイベントに携われたことは、私の大学生活の中で非常に重要な出来事でした。イベントに参加して頂いた企業・NPO・学生の皆様、メンバーの皆には本当に感謝しています。ありがとうございました。

企業渉外 加藤夢子

「よりよい社会にしたい」そんな漠然な思いから私たちのプロジェクトは始まりました。

よりよい社会といってもそんな簡単な言葉でまとめられるほど単純なものではなく、私たちのイベントが果たして本当に少しでも社会貢献になるのだろうか、社会の人に受け入れてもらえるのだろうかと不安でいっぱいだったけれど、次第に自分たちのやっていることに誇りをもつことができました。

このワールドカフェを通して私が1番学んだことは、「外へでる大切さ=人とのつながり」をつくることです。私たちの身内だけでなく外に呼びかけたからこそ、出会うことができなかつた人とたくさん出会うことができました。また、人とつながりたくてもどうしていいかわからない人がいるのならば呼びかけてみよう、つながる場所がないという人がいれば私がそういう場をつくりたいとさえ思えるようになりました。今後はワールドカフェでできたつながりをどのようにして濃いものにしていくことが目標です。

私たちの声に耳を傾け、参加して下さった参加者の方々には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。至らないことが多く、ご迷惑をおかけすることもありましたが少しでも参加して良かったと思っていただけたなら幸いです。また、協賛金、協賛物資に協力して下さった方々、私たちのワールドカフェに関わって下さったすべての皆様に感謝の気持ちを伝えたいです。本当にありがとうございました。

企業渉外 北川夏実

私はワールドカフェに出会って「対話」の魅力にどっぷり浸かりました。対話とここまで正面から向き合ったのはこの機会が初めてでしたし、対話にはまだ見ぬ可能性がたくさん秘めていると思います。また、渉外活動を通して多くの出逢いがあり、さらに、ワールドカフェというたくさんの人と人との出逢いの場を創造することができ、いつも新しい出逢いの日々でした。今回は年齢の幅も活動の幅も非常に広く、多種多様な方に集まって頂いて、そこには80色の価値観と思いが溢れていました。ワールドカフェというひとつの空間で、そんなより良い社会創りへの色とりどりの思いが、ひとつにまとまった一体感を会場にいた皆が感じることができたのではないのでしょうか。目の前で繰り広げられる対話を目の前にして、そんなことを感じました。まだワールドカフェの魅力を知らない人に、ぜひ気づいて頂きたい、また、もっと多くの人を巻き込んで、社会が昨日よりも今日よりも素敵になっている未来を創造し続けていきたいと純粋に思いました。今回、私達のワールドカフェが無事開催に至ったのは、話を聞いてくれた方、支援をしてくれた方、ご協力頂いた方、参加してくれた皆様、衝突しながら共に支えあったメンバーの仲間、見守ってくれていた先生がいたおかげです。そんなWCに関わった全ての人に感謝の気持ちを伝えたいです。本当にどうもありがとうございました。

企業渉外 鈴木貴子

私はこのプロジェクトに携わり、様々なことを学びました。サークルなどに所属していない私にとっては大学生活の中で学生同士で協力し、1つのイベントを作り上げるという経験は新鮮で、思い悩むことも多かったけれども、得るものが大きく実りのある経験でした。また、このイベントは参加して下さった方々がいなければ開催することができませんでした。また都合の関係で参加は叶わなかったものの、イベントについて知人の方に広めて下さった方々などたくさんの方の温かさに触れることができました。心より御礼申し上げます。

次に私がこのプロジェクトを通して感じたことは大きく分けて2つあります。

1つ目は「対話」のすばらしさです。普段、何気なく「対話」を繰り返している私たちですが、ワールドカフェを通して改めてその良さに気づくことができました。いろいろな人と対話を通して自分の考えや価値観を伝え合うことで、自分とは異なる考えから刺激を受けることもできるし、自分について話すことは、自分を再認識することにも繋がると思います。またその過程で自分の考えは他人にとってはどう映るのか、フィードバックを得ることができます。その1つ1つは、その人の経験、年齢、立場等によって違ってくると思いますが、そのような普段出会う機会があまりない人々との出会いを可能にし、様々な価値観に触れることがで

きるのがワールドカフェの面白い所だと思います。私自身も、自分の考えに固執するのではなく、多様な考えに触れることで自分の知見や視野が広がっていく感覚を大切にしていきたいと感じました。二つ目は「一歩踏み出す」ことの大切さです。私は企画・運営において、イベントへの参加交渉を行う渉外を担当しました。ゼミ内での初めてのワールドカフェ開催ということで過去に成功した実績もなければ、見ず知らずの大学生によるイベントなので、どんな反応が返ってくるのだろうと不安になり、交渉に踏み出せなかった時もありました。しかし他のプロジェクトメンバーが頑張っているのを見て励まされ、グループで活動することの良さを実感しました。今考えてみると、一歩踏み出すのは怖いけれど、それを何回か繰り返すことが自分の経験値になるということを学んだと思います。このことは私の今後の人生においても役に立つ、重要な気づきでした。ワールドカフェ開催後、参加して下さった方から、「楽しかった」「次はいつやるの」等のお言葉を頂き、このイベントを開催して本当によかったと思います。ワールドカフェ開催に携わり、初めての経験の繰り返しで至らない点多々ありましたが、反省点や学んだことを今後の人生に生かしていけたらと思います。本当に充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

企業渉外 玉木早織

私は今回のワールドカフェの運営を通して様々なことを学びました。まず、ワールドカフェという新しい対話手法を知りました。ワールドカフェではただ話すだけでなく、書きながら話し合えるので意見を整理しながら話せました。人前で話すことが苦手な私でしたが、ワールドカフェで話す時は楽しく話せました。私は企業の参加者集めをしました。最初はどのように参加者を集めるか分からず、東京にある企業をリストアップし、企業のお問い合わせフォームにメールを送りました。この時は、企業に実際に電話する勇気がありませんでした。その理由として、企業の電話のかけ方が分からないということや、私の企画の理解が浅く、うまく相手に伝える自信がありませんでした。ワールドカフェ開催が近くなり、新たな参加者集めの方法として **Twitter** を使うようになりました。フォロワー数を増やし、フォロワー数が増えていくことはうれしかったのですが、実際に参加依していただけの方を見つけることは大変でした。文字でのやりとりだけで相手に簡潔に伝えるにはどうしたら良いのか、私たちの思いをどう伝えたらいいのかということを日々模索しました。参加者集めをした中で最もうれしかった言葉は、「あなたの思いが伝わりました。参加します。」という言葉でした。この言葉をいただいた時、自分の思いが相手に伝わるうれしさをとても感じました。ワールドカフェ当日、今まで連絡を取らせていただいた方とお会いし、「ワールドカフェに参加して良かった」と仰っていただき、とてもうれしかったです。ワールドカフェを通して新たな人

に出会い、様々なことを学べたのはゼミ生やワールドカフェにご協力して下さった方々のおかげだと思います。ありがとうございました。

広報 橋本歩美

「それで、取材をすることでこちらに何かメリットはあるんですか？」
と電話越しで言われた時、上手く返答できない自分が情けなくなりました。

私にとって、WCを開催するに当たって一番勉強になったと思う活動は、宣伝のために行った取材交渉でした。当初、交渉相手に所詮大学生だろう、というような態度を取られたこと、その“所詮大学生”の域を出ていなかったこと、どちらも悔しい経験です。

それでも、交渉に行き詰まっていた時、アドバイスをくれた方、一緒に交渉をしてくれたメンバーがいて、本当に助かりました。最終的に外部の方から取材して頂くことは叶いませんでしたが、おかげさまであるテレビ局の方から、「もう数か月早かったら、準備段階から取材してドキュメンタリーを作りたかった」とのお言葉を頂くことができました。

一人でやり続けていたら、その言葉を頂くことはできなかったはずです。力不足だと恥ずかしくなりましたが、こうした物事は皆でやらないとできない、皆がいるからこそできる、ということ学ぶことができました。私にとって最大の収穫とも言える気づきでした。そして当日は、ばたばたしながらも、最終的にWCをよい形で終わらせることができ本当に嬉しかったです。

それもこれも、助けて下さった皆さん、運営メンバーの皆、そして最後まで迷惑をかけてしまったリーダーズのおかげです。本当にありがとうございました。

運営 古屋園

「もっと成長したい！！」

ワールドカフェを終えての率直な感想です。

イベントが終わって「やってよかった」と思えるまでに少し時間がかかりました。なぜなら私にとって「ワールドカフェ～対話+創造=ちょっといい未来～」は、準備期間もイベント当日も失敗、後悔、反省ばかりだったからです。

今まで、友人との飲み会の企画くらいしかした事のない私にとって、今回の100人規模のワールドカフェの企画や運営は、初体験の連続でした。何度も何度も会議を重ねて作り上げた企画も運営計画も穴だらけでした。何の知識も経験もない私ができるはずなかったのかもしれないかもしれませんが、長い期間をかけて準備してきただけに、すごく落ち込みました。

しかし参加者の方々からアンケートやブログを通して「工藤ゼミのワールドカフェに参加してよかった」という感想をいただき、「この失敗を自分の糧にして成長したい!」という気持ちに変わりました。

失敗するのが怖くて、絶対成功させたくて「答え」が欲しいと思ったこともありました。しかし今は、思う存分失敗させてくれた先生に感謝しています。

私にとって今回のイベントは「成功」と言い切るのは難しいです。しかし、ワールドカフェを通してできた「仲間との絆」や「思い」は私にとって宝物です。

「思いのない成功」よりも「思いのこもった失敗」のほうがよっぽど良いと感じています。

一から仲間と共に作り上げた「ワールドカフェ～対話+創造=ちょっといい未来～」は私にとって誇りです。

最後に、ワールドカフェに参加していただいた方々、本当にありがとうございました。いたらない点ばかりで、ご迷惑をたくさんおかけしたかと思いますが、参加者のみなさんの協力のおかげで私たちはイベントを開催することができました。

本当にありがとうございました。

企業渉外 堀口理恵

私はワールドカフェの運営を通して、自分の世界が広がりました。今までプロジェクトの企画運営に関わったこともなく、グループワーク、渉外としての仕事も生まれて初めての経験でした。グループワークという点では、みんなで一つのものを作り上げることの大変さを実感すると同時に、仲間と切磋琢磨し合い、支え合ってきたからこそ開催できたのだということからミニマムな社会の仕組みを学ぶに至りました。渉外の仕事では、企業へのアプローチに非常に不安を感じていました。初めは企業に電話することを恐れて、SNSでの交渉に逃げていました。しかし、開催日が近づき「電話や訪問もしてみたらどうか」という先生からの提案を頂き、一度挑戦してみると2回目以降は不安を忘れ、どうしたら企業に参加したいと思ってもらえるかなど、自分の熱意を伝えることで頭がいっぱいの自分がいることに気が付きました。不安があってもそれは初めだけであり、何でも挑戦すれば必ず見える世界があるということを学びました。また自分の思い、熱意は言葉にしてみても初めて、その行動を支える原動力になるのだと感じました。ワールドカフェ当日には、参加者の方々々が休憩時間やカフェが終了した後も、立ち上がり熱心に話し合いを続けていたのが印象的でした。また帰り際に生き生きとした表情で「素敵な時間をありがとう」という言葉を参加者の方から頂いたときは考え深いものがありました。相手を否定せず、話を聞くという「尊重と傾聴」のスタンスで、自分の意見を素直に言葉にし合う、このワールドカフェの特性は、私たち一人

ひとりが持つそれぞれ異なる価値観に間違いはなく、一人ひとりの多様性を認めてくれる世界なのだと感じました。そのような世界にいる人々は、柔軟で前向きな、そして幸せな気持ちになれるのだと思います。ワールドカフェの世界はどこに居ても誰でも意識一つですることができます。日常生活の中で、ビジネスの現場で、政治の場で、「尊重と傾聴」をみんな意識できたら、どんな世界になるのでしょうか。これから様々な場所でワールドカフェが広がっていくことを願い、今回参加して下さった皆様がワールドカフェの中で感じた気持ちを時々少しだけ思い出して頂けたら嬉しいです。たくさんの世界を知るチャンスを与えてくれた工藤先生、プロジェクトメンバー、先輩方、そして参加して下さった皆様に心よりお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

NPO 渉外 長塚勝

今回のプロジェクトのコンセプトは「対話を通して参加して下さった方々に新しい気づきを持って帰っていただく」というコンセプトだったが、一番多くの気づきを得られたのは案外私たち運営スタッフだったのではないだろうか。プロジェクトも終わりに近づいた今、強くそう思う。

今回のプロジェクトでは非常にたくさんの人の協力をいただいた。参加して下さった方々・イベントの告知を手伝って下さった方々・運営のアドバイスを下さった方々、そして運営スタッフのみんな、一人としてかけていたら結果は違っていたと思う。改めてお礼を申し上げたい。

その一方で私は皆さんの好意にしっかり応えることができたのだろうか。「他の人に何かをしていただく」ということは、その人の時間や労力をいただくという事だと思う。他の人の時間や労力に私は誠意と責任をもって応えることができたのだろうか。プロジェクトを通して一定の成果は挙げられたと思うが、課題は残る。

私にとって今年度のプロジェクトは「自分の行動に責任を持つ」大切さを教えてくれた大変貴重なものであった。自分の発言・自分の行動のひとつひとつに責任をもたなければ、周囲に迷惑をかけてしまうし、他の人の時間と労力を無駄にしてしまう。責任をもった発言・行動をするためにはしっかりとした計画・準備が必要だということも感じた。社会に出る前に責任の大切さを学ぶことができたので、私にとっても今回のプロジェクトは非常にためになった。

改めて今回のプロジェクトで関わって下さった全員に感謝の意をつたえたい。

本当にありがとうございました。

2012年度 獨協大学外国語学部工藤和宏ゼミ プロジェクト報告書

ワールドカフェ

～対話+創造=ちょっといい未来～

2013年12月6日

獨協大学外国語学部工藤和宏ゼミ

編集・校正 工藤和宏（獨協大学外国語学部専任講師）